

## レポート! 授業No.047「ものものいきもの」

47回目の授業は、東京都東大和市立第十小学校にて、5年生67名(男子31名、女子36名)の児童を対象に行いました。講師は現代美術家の富田菜摘さん(2009年油画卒業)です。今回の授業では、児童6〜7人が1グループとなり、身のまわりにある使わなくなったプラスチック製品を使っていきものをつくりました。いきものが完成したら、名前や特徴を考えて紙にまとめ、最後に皆の前で発表をしました。身のまわりにあるものからステキな色やオモシロイかたちを見つけ、作品をつくることを通して、いらなくなったものへ新たな命をふきこむ授業です。

2014.2.21 fri. 08:45~09:30 (1時間目)

### 作品紹介

体育館の正面、舞台の下にはサイ、ラクダ、カメが合わせて4匹もならんでいます。体育館に入場した児童は大きな動物たちに興味津々です。挨拶の後、早速、富田先生の作品紹介が始まりました。「私は普段、身近な廃品とか日用品を使って、主にいきものをつくっています。使わなくなったものをいきものとして生まれ変わらせたいという気持ちで作品をつくっているそうです。作品をよく見ると、見慣れたものがたくさん見つかります。「これは何を使っているかわかるかな?」「キーボード!」「自転車だ!」「そう、自転車部品がすごく多いんです。」「64だ」「よく見つけたね。サイの足はゲーム機のリモコンを使っています。」説明の後、作品を間近で鑑賞しました。「作品には、いつもタイトルがわりに名前をつけています。このカメは実和という、事務用椅子を使っているの、上に乗ったり動くこともできます。」じっくりと見たり、触れて確かめたり、乗ったりしながら作品を楽しみました。

### アイデアスケッチ

つくり始める前にイメージを高めたり、頭をほぐす練習でアイデアスケッチを描きました。頭や手足、目鼻、口など、からだを14部分に分け、くじ引きをして担当を決めます。頭など大きな部分から目鼻などの細部へと、メンバーが交代しながら順番にスケッチを描いていきます。前の人が描いた絵を見ながら、その場で自分の担当部分を描き足していく即興性がゲーム感覚で面白く、気持ちをリラックスさせるのか、どのグループもアイデア満載のおもしろいいきものが、どんどん生まれいきました。3回描いた後、好きな1枚を選んだら、いよいよ製作です!

09:35~10:20 (2時間目)

10:45~11:30 (3時間目)

11:40~12:25 (4時間目)

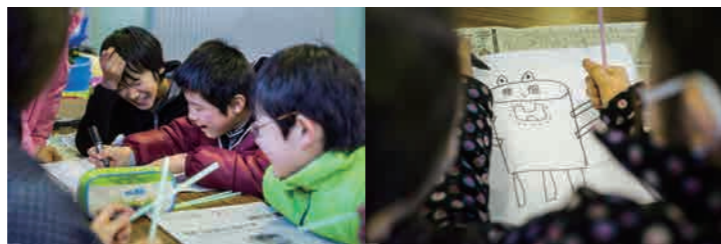
### いきものをつくらう

いきものをつくるために、児童にもお家にならなくなったプラスチック製品を集めてもらいました。お家がクリーニング屋さんという児童はハンガーを100枚もってきたそうです。集まったプラスチック製品は、バケツ、カゴ、ペーパーバス、CD-ROM、ボトル、歯ブラシストローなど幅広い種類にわたり、私たちが日常生活の中でいかに多くのプラスチック製品を使っているかに気づかされます。材料は富田先生が準備したものとお合わせると、体育館の片側の壁が全部埋まってしまいうるくらいたくさん集まりました。今回は株ナカダイさんの協力で、工場や過程でできるさまざまな廃棄物も材料として使っています。

2時間目の最初に富田先生がいきものづくり方と道具の使い方を説明しました。まずは材料探しです。グループごとに配られた材料と自由に使える共有の材料から、色や形のオモシロイもの、イメージにあうものを集めます。そして組み合わせ方が決まったら固定していきます。アイデアスケッチ通りでなく、モノの形にあわせ形を変えてもよいそうです。大きさや長さを調節する時は金切りばさみや金ノコを使い、固定はドリルで穴をあけて針金でつないだり、熱で樹脂を溶かして接着するグルーガンを使いました。今回の授業のために、児童は図工の時間にグルーガンの使い方を練習してくれたそうです。嬉しいですね。説明の後には、グループに分かれて、製作開始です。

「最初に顔をつけるといきものらしさができます。まずは顔からつくってみよう!」と富田先生。目玉になりそうなものを集め、あれこれ入れ替えて使うものを絞って入れていくグループ、鍵盤ハーモニカやキーボードを分解して部品探しから始めるグループと、それぞれのアプローチ方法もユニークです。お弁当の仕切りに使うバレン(片側がギザギザのプラスチックシート)をまっつけに見立てたり、CD-ROMでキラキラ光る目をつくるグループもありました。顔が出来たらからだもつくります。ベースとなるからだは大きなものを組み合わせるとあって、各グループ共に自立させるために四苦八苦しました。「倒れちゃう」「バランスが悪いのかなあ」「グラグラするよ」「中に棒をいれたらどう?」「スプーン(の柄)が使えるかも」。富田先生と各グループにつきアシスタントスタッフも、児童と一緒に工夫を重ねます。

こうして完成した10グループのいきものたち。色、形、もの使い方に工夫を凝らした、個性あふれる楽しい作品が出来上がりました。



13:40~14:25 (5時間目)

14:30~15:15 (6時間目)

### いきものシートにまとめよう

グループごとにつくったいきもの特徴を考え、紙にまとめました。特徴は①いきもの名前 ②学名 ③住んでいる場所 ④性格 ⑤すきなもの ⑥得意技 ⑦弱点 きらいなもの7点です。大きな紙にアイデアをどんだんだしていき、まとまったらA2サイズの紙に清書します。使ったものからイメージをひろげ、⑤すきなものに「パソコン中古品」や「電気を食べる」と書いたり、今回の材料が廃棄物であることを意識し③の住んでいる場所に「ゴミ町ゴミ置場」と書くグループもありました。完成したいきものシートを見ると、ファッションや自然、生物、外国など、それぞれの関心と結びついて展開した特徴も多く幅広い関心に高学年らしさを感じました。

### 発表

グループごとに、全員が前へ出て、いきものシートにまとめた内容を発表をしました。「口を大きく開き1口で食べる」いきものは口を開け閉めできたり、「ドリンクバーが好き」なきものは身体にコップがたくさんついていたり、特徴につながるからだのつくりが数多くありました。「形をそのまま生かした所がいいね」「色が凝っているなあ」「頭にクリスマスツリーのもみの木がついている所が意外で面白いわね」児童それぞれのこだわりが随所に見られるいきものたちに、富田先生は「近くで見れば見るほど発見がたくさんあるので、後で他のグループの作品もぜひ見てください」と皆に呼びかけました。

### まとめ

最後に富田先生からお話がありました。「こんなにすばらしい大作ができるかと想像もしなかったので、楽しい一日でした。これからも生活の中で、もの形とか色とか気にしてもらえたらと思います。そして、今回いろいろ意識してやってみたことで、もの見方がちょっとでも変わったら嬉しいなと思っています。ありがとうございました。」

### ■おわりに

授業の実施にあたり、東大和市立第十小学校 杉本信代校長先生、田村亜紀子副校長先生、担当の図工専科 佐々木大樹先生、5年1組担任の関谷好美先生、2組担任の石黒文字先生はじめとする先生方に、多大なご理解とご協力をいただきました。また、素材収集では、株式会社ナカダイ様にご協力いただきました。



① 消臭人間パトラッシュ・オシャレうさぎよん ② ツリーロボさん ③ 森ガエル ④ エンヨマ



⑤ ゴリロン ⑥ OYAZZI ⑦ ガブリ ⑧ ダストゴット ⑨ アメちゃん三世 ⑩ ロット

講師 現代美術家 富田 菜摘 氏 (2009年油画卒業)

